

明治~令和へ 歴史をつなぐ 上信電鉄

上信新聞

(富岡編)

上信電鉄は明治28年上野(うづね)鉄道(株)として設立され、開業以来、120年以上の歴史を持つ単線である。高山(たかやま)市と下仁田(しもにた)町をつなぎ、養蚕(かいこ)産業がさかんだった当時、蒸気機関車(じょうききかんしゃ)が客車(きやくしゃ)や貨物(かぶつ)を引き、行き来していた。大正(たいしょう)に入り、全線(せんせん)電化(でんか)され、昭和(しやうわ)39年、上信電鉄(株)に改称(かいしやう)された。そして今年、新しい時代「令和」をむかえた。レトロな駅舎(えきや)や硬券(じやうけん)の乗車券(のりこせき)、沿線(えんせん)に残る貴重な歴史(れきし)遺産(いさん)の数々(かずかず)は、訪れる人を昔(むかし)好き(すき)時代の時間(じかん)旅行(りょこう)へと誘(まね)う。



旅のおすすりめ
スポットを
紹介しよう。

この秋がすめ
上信電鉄で行く
ご朱印めぐり

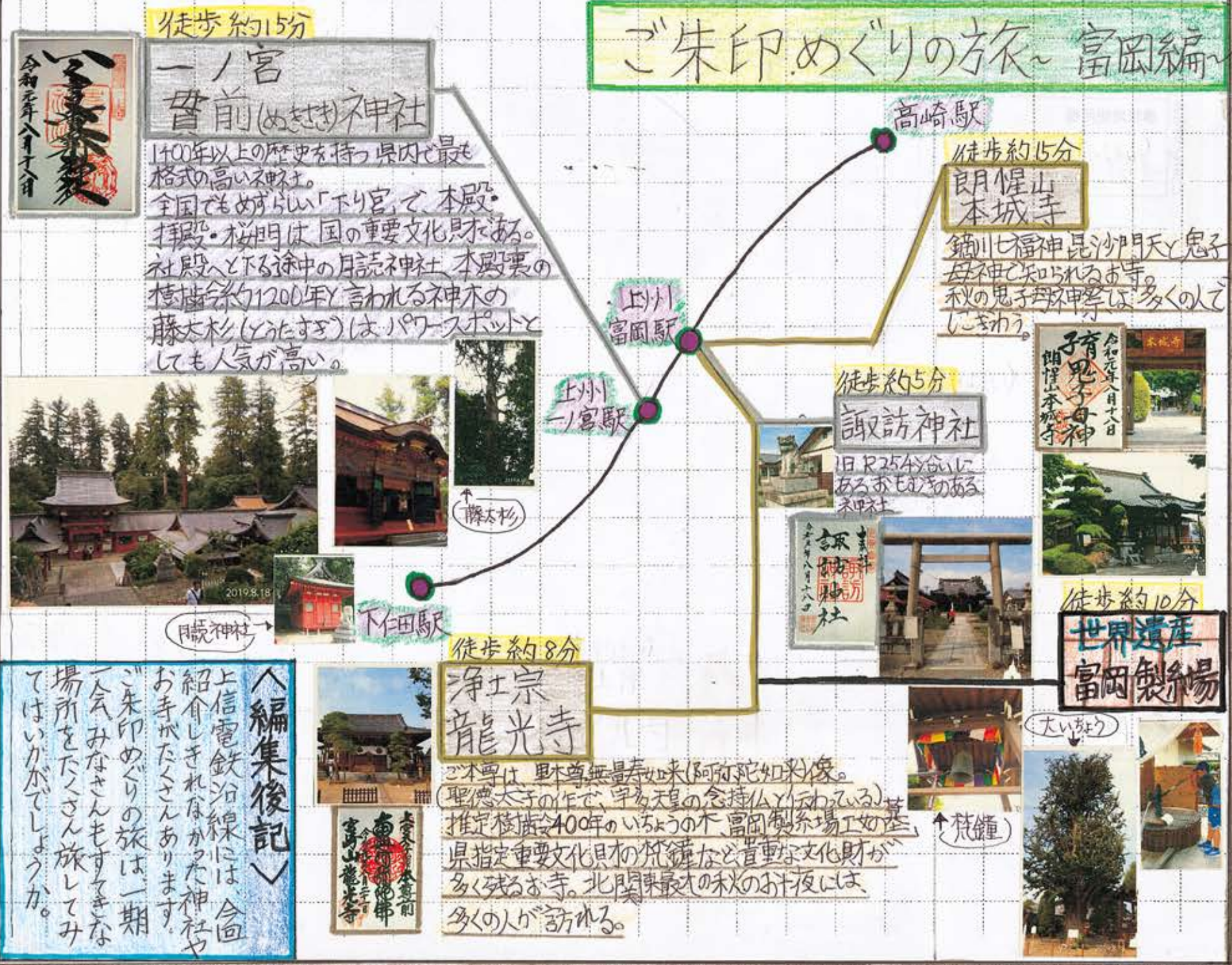
ぼくは、去年の夏、妙義神社を初めて参拝した。総門・本殿唐門は、国の重要文化財であり、樹齢二〇〇年と言われる、いたれ桜は、見事だ。本殿までは、全部で四四〇段の階段を上る。ぼくは生まれて初めて、ご朱印を頂いた。目の前で書いて頂きたい。味を知り、今年の夏は、上信電鉄沿線のご朱印めぐりをした。

必見!!
世界遺産と重要文化財

ぼくの住む群馬県富岡市は、世界遺産「富岡製糸場」を始め、国の指定重要文化財の妙義神社や貫前(ぬきさき)神社、日本百景に選ばれた妙義山など、多くの歴史遺産が点在する。

発行者
富岡市立高瀬小学校
4年 窪田琉良
2019年(令和元年)8月

ご朱印めぐりの旅~富岡編



徒歩約15分

一ノ宮 貫前(ぬきさき)神社

1400年以上の歴史を持つ県内でも最高格式の古い神社。全国でもめずらしい「下り宮」で、本殿・拝殿・桜門は国の重要文化財にある。社殿へと下る途中の月読神社、本殿裏の榎樹(えのき)約1200年、言われる神木の藤太杉(ふじたすぎ)は、パワースポットとしても人気が高い。



藤太杉

職神社

下仁田駅

徒歩約8分

浄土宗 龍光寺

ご本尊は、野尊無量寿如来(阿彌陀如来)像。聖徳太子の作で、宇多天皇の念持仏(ねもちぶつ)と云われている。推定樹齢400年のいちようの木、富岡製糸場工如堂(こうにょどう)県指定重要文化財の梵鐘(ぼんしょう)など貴重な文化財が多く残るお寺。北関東最大の秋のお祭りには、多くの方が訪れる。



梵鐘

徒歩約5分

諏訪神社

旧R254沿いにあるおE蔵のある神社



徒歩約15分

朗惺山本城寺

鍾川(かねがわ)七福神(しちふくじん)昆沙門天(こんざもんてん)と鬼子母神(おにごもじん)と知られるお寺。秋の鬼子母神祭(おにごもじんまつり)は、多くの人が訪れる。



徒歩約10分

世界遺産 富岡製糸場



編集後記
上信電鉄沿線には、今回紹介しきれなかった神社やお寺がたくさんあります。ご朱印めぐりの旅は、一期一会(いちごいちえ)みなさんもぜひ、ぜひ場所をたくさん旅してみたいかががてしようか。